

学力向上の取り組みNEWS

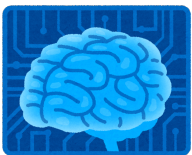
～共に学ぼう、共に高め合おう～

主体的に学びを進めるための改革

1学期までは、毎朝10分間の読書時間「朝読書」の活動をしていました。2学期からは、グランドデザインに基づき、「自ら考え行動し、粘り強く学びに向かう生徒」を育成することを目的として、水曜日から金曜日の3日間を「1中タイム」としました。「1中タイム」のルールは、しゃべらず静かにし、自分の力を伸ばすためならば、何をしてもいいこととしています。前週の金曜日に「1中タイム」の計画を立て、自分自身の力を最大限に引き出せるよう、自分をマネジメントし、自ら学び続ける姿勢を育成していきます。問題集をしていたり、読書をしていたり、夢を実現するための学習を進めたり、スポーツの勉強をしたり、「力を伸ばそう」と有意義な時間を過ごしている生徒からは大好評をいただいています。ご家庭でも、「自分の力を伸ばす時間」を設定して、有意義な時間を創造してみてもはいかがでしょうか？

選択肢を持つこと、選ぶこと

来年度4月から実施される新学習指導要領では、生徒が主体性を持ち、対話的に学び、学習内容について学びを深めていくこととしています。敷かれたレールの上を走るのではなく、自分で自分のすべきことを選択する力が求められています。選択するときには悩んだり、失敗することもあるかもしれませんが、しかし、そういう経験を中学生時代から繰り返すことで「成長する」機会を作り、自分で考える力を伸ばすことにつながります。



世界を含め、これまでの教育は、正確に決められたルーティンを素早くこなす人材の育成に力を入れてきたと言われていました。しかし、昨今発達が著しいAI（人工知能）は、この正確に素早くルーティンをこなすことを最も得意としており、人間は太刀打ちできないとされています。

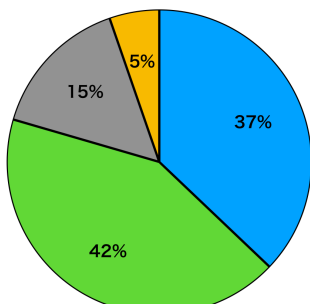


ただし、人間がAIより得意な部分があります。それは複雑な条件から最も納得できそうなものを選択するという力です。これから、激変の世を渡り歩くことになるであろう現代の子ども達が身につけたい力です。（例えばAIは「食糧危機を回避するためには？」の答えに「人類を滅亡させることが最適」と答えるかもしれない。しかし、この答えは納得できない。人間はこの答えを「選ばない」ことを選択することができる）

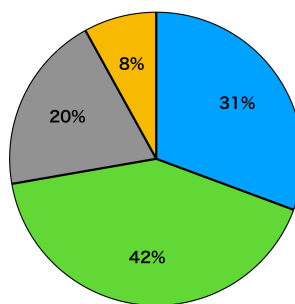
その一歩として、「〇〇をしなさい」と指定されて行動するのではなく、自分で何をするか決定する「1中タイム」で、選択肢を持ち、自分で必要なことを選ぶ力をつけていって欲しいと願っています。

一中タイムに関する生徒アンケート結果

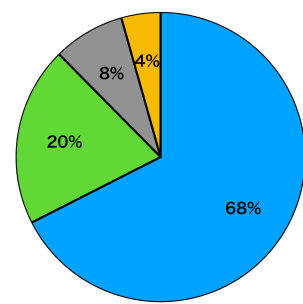
● そう思う ● まあそう思う ● あまりそう思わない ● 思わない



一中タイムで自分の力を伸ばすことができましたか？



一中タイムでは計画を立てて進めることができましたか？



来年度も一中タイムを継続したいですか？